

## 令和5年度第3回周南市ごみ対策推進審議会議事録

1. 日 時	令和6年3月14日（木曜日） 14時～15時05分
2. 場 所	周南市シビック交流センター交流室1
3. 出席者	(委員16人) 赤木 真由、池田 光優、佐守 広志、西 俊明、船井 辰朗、山崎 信枝、 加藤 洋、磯村 孝、上田 豊、亀谷 ケイ子、鎌田 昌子、佐々木 哲子、 有國 美恵子、住谷 博志、村井 宏輔、山村 満昭 (事務局6人) (傍聴者1人)
4. 議 事	(1) 周南市のごみ排出量（令和4年度確定値）について (2) ごみ分別冊子の改定について（完成版の報告） (3) 令和6年度周南市一般廃棄物処理実施計画（案）について
5. その他	(1) 今後の周南市ごみ対策推進審議会のスケジュールについて

### ○ 部長挨拶

(事務局)

出席者数、欠席者数と会議の成立を報告（出席委員16名、欠席委員2名）

### ○ 議事

#### 議事1 周南市のごみ排出量（令和4年度確定値）について

(議長)

議事1、「周南市のごみ排出量（令和4年度確定値）について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

●別紙資料を基に、令和4年度のごみの排出量（確定値）と推移について説明。

【概要】「速報値」として報告した内容がそのまま確定値となっており、数値に変更は無し。ごみ排出量の傾向は、計画値に対する総排出量の実績は概ね計画通りだが、種類ごとでは、目標を達成できていない状況。ごみの種類別の推移では、一時的に増加傾向にあったごみが、コロナ禍の影響が落ち着き、昨年度は、平年並みの動きに戻りつつある。

(議長)

事務局からの説明・内容に対して、委員の皆さんからご意見・ご質問何でも結構なのでお願いします。

(委員)

コロナ禍の影響が落ち着いた現在の状況として、資源物の回収量はどのような傾向となっているのでしょうか。

(委員)

自治会連合会の会長をしています。コロナを理由とした大きな変化はないようです。ただ、最近はインターネットで手軽に情報を入手できるため新聞紙や雑誌は売り上げが減っていることで、量が減っているように思います。

(委員)

次の計画では、新聞や雑誌が減っているなどの傾向を踏まえて見直しをした方が良いと思います。

(事務局)

なお、市民の皆さんが行う資源団体回収の量は、コロナ禍の令和2年度以降は特に大幅に減少しています。(審議会資料P7のごみ排出量の推移中「資源団体回収」を参照) コロナ禍が落ち着いてきた現在も回収量はあまり戻っていませんが実施回数は増えてきている状況です。

(議長)

他にご質問はありますか。

(委員)

意見なし。

(議長)

議事1につきましては、終了し、次に移ります。

議事2 ごみ分別冊子の改定について (完成版の報告)
----------------------------

(議長)

議事2、「ごみ分別冊子の改定について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

●今年度中の2回の審議会において、分別冊子のレイアウトや掲載項目などについて委員の皆さんからいただいた意見を踏まえて、改訂版の冊子が完成したので、その概要について報告。

※改定内容のポイントについては、冊子と共に配布した資料を参照

(議長)

事務局からの説明・内容に対して、委員の皆さんからご意見・ご質問何でも結構なのでお願いします。

(委員)

審議会での意見が反映された点も多く改善されてうれしく思います。今後は、この分別冊子を、いかに使いやすく、永く使いたいと思ってもらえるかが大事だと思います。たとえば、分別冊子の穴あけについては予算の関係で難しかったとのことですが、穴を開けた場合の中ページのレイアウト等にも配慮したうえで、表紙に丸い印をつけることはできたのではないかと思います。

(事務局)

確かに、穴を開けることに囚われ過ぎており、穴開けの印をつける検討はできたと思います。次回の改定時には反映できるようにしたいと思います。

(委員)

いかに興味を持ってもらうかという観点で言えば、例えば表紙に「このままではあと〇年で処分場が満杯になってしまいます。困っています。助けてください！」くらいの危機感を煽る表現を検討しても良いのかなと思います。

(事務局)

いかに興味を持って手に取ってもらえるかという観点から、インパクトのある表現を用いるというのは一つの方法だと思います。行政が発行するものということもあり、あまり極端なものは難しいかもしれませんが、そのバランスを意識しつつ、次回改定時の参考にさせていただきます。

(委員)

分別冊子自体は非常にいいものが出来上がったと思いますが、自治会に加入していない方には配られていません。集合住宅等に住む学生や単身者などに、ごみの出し方をわかってもらうためにどう周知していくかが大きな課題であると思います。

(事務局)

自治会未加入者への周知は本市としても課題であると考えています。現状の周知方法としては、市役所本庁舎や各総合支所及び支所での希望者への分別冊子等の配布や、市ホームページ上でのごみ分別方法の掲載、また、ごみの分別につかえるア

プリのダウンロードなどが中心となっています。新たな転入者に対しては、異動届の際に市民課にてごみカレンダーと分別冊子を配布しているのですが、自治会に未加入だと2年目からはごみカレンダーは配られません。自治会への加入促進も含め、正しいごみの分別方法をどのように周知していくかについては、自治会組織とも連携しながら検討してまいりたいと思います。

(議長)

一人暮らしの学生でも、地域の皆さんといっしょに快適な環境づくりを進めていきたいと思っている学生もいます。自治会の方から学生にアプローチしづらいようであれば、大学から学生に対してごみの分別方法について学ぶ機会をつくることもできると思いますので、大学にお声掛けいただければと思います。

(委員)

変更点について記したチラシですが、「お問い合わせの多い品目について新たに追加したもの」として、空調服や抗原検査キット、ハンディ扇風機など、様々なものが掲載されていますが、肝心の「それらをどの分別で捨てたらいいのか」が分別冊子を見なければわからないため、各々、どのごみで出すかについても記載した方が良かったのではと思いました。

(事務局)

ひとつひとつの品目ごとの分別方法について記載すると文字数が多くなり見辛くなるのではと考え、分別冊子と併用する前提での記載をしましたが、おっしゃるとおり、チラシだけで見た際に1枚で分別方法がわかる方が良かったかもしれません。次回以降、変更点をお知らせする際には、より分かり易い表記となるようご意見を参考にさせていただきます。

(委員)

アプリはすごく使いやすく、周囲でも評判が良いのですが、外国人や若い方向けにもっと周知した方が良いと思います。

(事務局)

いままで、アプリの周知は分別冊子の中のページに記載があったものを、この度の冊子改訂時に、裏表紙の目立つ位置に掲載場所を変更したところです。また、ごみカレンダーやごみ袋にもアプリダウンロードのQRコードを掲載し、周知を図っています。学生に対しては、先ほどご意見をいただいたように、大学を通じてお知らせすることもできるのではと思います。今後も様々な方法で周知に努めてまいります。

(委員)

ごみ収納ボックスにアプリのQRコードを表示してはどうでしょうか。単身者が多い集合住宅を管理する不動産会社の協力等が得られれば対応できると思います。

(事務局)

不動産業者との連携について模索してみようと思います。

※その他の意見について

(委員)

シュレッダーごみは、どの分別で出せばよいのでしょうか。

(事務局)

一般的なシュレッダーでは、細かく裁断されることにより紙の繊維が細かくなってしまうため、再資源化には向かないとされています。このため、シュレッダーくずは、古紙・衣類の日ではなく、燃やせるごみとして出していただくようお願いいたします。今後、技術の進歩等により、繊維が細かくなった紙を再資源化できる技術が確立された際には市民の皆さまにお知らせしたいと思います。

議事3 令和6年度周南市一般廃棄物処理実施計画（案）について
--------------------------------

(議長)

議事3、「令和6年度周南市一般廃棄物処理実施計画（案）について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

●別紙議事3資料を基に、ごみ及び生活排水の一般廃棄物処理基本計画に基づき年度ごとに策定する一般廃棄物処理実施計画の概要及び計画値等を中心に説明。

(議長)

事務局の説明・内容に対して、ご意見・ご質問があればお願いします。

(委員)

今回の令和6年度実施計画の数値は、基本計画の計画値が使用されていますが、令和4年度の実績値と比較すると差が大きい状況だと思います。長期計画の数値をそのまま使用した実施計画に対して、我々は何を審議すればいいのでしょうか。「目標とは差がありますが、こういった方法で目標達成できます」という発展的な話ができるのならともかく、理想論にしかならないのではないのでしょうか。

(事務局)

ご指摘いただいた通り、実施計画の計画値は、後期基本計画策定時の令和2年3月時点で作成された目標値から引用しており、これまでの実績値との乖離が大きくなっている状況です。基本計画策定時の計画値として設定しておりますので実施計画の数値としてはこの案で策定させていただきたいと思いますが、そのうえで、今の計画値と実績値がどの程度乖離しているかというのは精査し、差が大きいものについては次期基本計画で見直しが必要であると考えています。

(委員)

実施計画に計画値を掲載するのは分かるのですが、例えば、数値的なことだけではなく、周南市はごみの処理に関してこういうことをやっていく、という具体的なことがあれば、審議できる内容になるのではないかと思います。

(事務局)

基本計画の数字を準用する部分に加えて、これまでの取組に応じた次の年に取り組まなければならないことを分かり易く発信することは大事なことだと思いますので、実施計画に盛り込めるかどうか検討いたします。

(委員)

そもそも審議会で何を審議するのか、という部分を理解するために、次回の審議会では、ごみ対策推進審議会の設置目的について、いま一度、審議会委員の皆さんに説明してほしいと思います。

(事務局)

次年度の審議会では、新たな次の10年間のごみ処理基本計画を審議していただくこととなります。そのためには審議会委員の皆さんから、しっかりご意見を頂戴して、より良い計画とする必要がありますので、その審議のベースとなる審議会の目的や主旨については、内容を整理して充分ご説明し、共通の理解のもとで審議していければと考えています。

(委員)

仏壇や神棚、大きな庭石など、処理の難しいごみに関する処理方法について、どこに依頼すればいいのかわからないケースがあります。行政で処理できないのは分かりますが相談窓口があれば助かると思います。

(事務局)

市の処理施設で適正に処理できないものについては、民間の事業者にご相談いただくこととなります。公平性もあり、特定の事業者をご紹介することは難しいのですが、どこに聞けばいいのかわからないという時の窓口としては市リサイクル推進課にご相談ください。

(議長)

議事3につきましたは、終了し、次に移ります。

その他について

(議長)

「その他について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

今後の周南市ごみ対策推進審議会のスケジュールについて

- 現在策定されている一般廃棄物（ごみ）処理基本計画は、令和6年度が最終年度となるため、次年度中に次期計画を策定する必要があり、その際には審議会委員の皆様にご意見等をいただきながら新たな計画策定について審議することになること等について説明。

(議長)

事務局から、その他について説明がありました。何かご質問はありますか。

(委員)

意見なし。

(議長)

それでは、議事進行を事務局にお返しします。

(事務局)

ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第3回周南市ごみ対策推進審議会を閉会いたします。皆さん、お疲れ様でした。